

作品リスト

No.
作家名
作品名
制作年
材質・技法
寸法ほか：高さ×幅×奥行
(cm)
備考

ハイライト

作家とスタイル

A-1

1-1
横尾 忠則
《葬列 I》
1969-1985
シルクスクリン・アクリル板
74.90×114.0×10.50

1-2
横尾 忠則
《葬列 II》
1969-1985
シルクスクリン・アクリル板
74.5×114.0×10.5

1-3
アンディ・ウォーホル
《花》
1975
毛織物
213.0×211.4

1-4
クリスト
《バリのためのプロジェクト 梱包されたボン・ヌフ》
1984
鉛筆、木炭、クレヨン、パステル・紙、地図
144.6×165.0

1-5
河原 温
《SEPT.8,1984 Today シリーズ (1966-2013) より》
1984
アクリル・キャンバス
155.0×226.0

1-6
阿部 展也
《作品—ROMA》
1963
エンコスティック・板
146.0×114.0

1-7
たべけんぞう
《マグネティック フィールド E-5》
1993
ミクストメディア
60.0×150.0×150.0

1-8
杉浦 邦恵
《草間彌生 Ap (アーティストの書類)》
2003
ゼラチン・シルバー・プリント
73.50×98.0
国際交流基金より寄託

1-9
杉浦 邦恵
《村上隆 B (アーティストの書類)》
2003
ゼラチン・シルバー・プリント
200.0×150.0
国際交流基金より寄託

1-10
サム・フランシス
《SFP 8 8-2 3 3》
1988
アクリル・キャンバス
183.0×305.0

1-11
岡崎 乾二郎
《枝の振動が伝わり、幹の裂ける音が聞こえ、木と木の間を軽々と、煙と炎が進んできたとしても、植物に逃げる足はなく、微塵のように灰が降っても、防ぐ手だてもありません。きつと肚にすえかねることだっただけでしょう。ためしに聴診器を幹にあててみれば、ごとごと、ごうごう空おそろしい騒音が響いている。森全体が怒っている、正直な気持ち。》
2004
アクリル・キャンバス
200.0×144.5
2点組 (左)

1-12
岡崎 乾二郎
《木という木がいま、自分の話に耳を傾けているような錯覚がします。ひとたび地表に根をおろせば、植物は一生、住む土地を変えられないから、もっと安全な場所を見つけようなんて考えも浮かばないのです。だから羊歯の大きな葉と葉が揺れ、その間から物音が聞こえてきたとき、みんなも草の中に身をすくませたのです。木が生きている、その通りに。》
2004
アクリル・キャンバス
200.0×144.5
2点組 (右)

1-13
山本 圭吾
《Foot No.3》
1977
ビデオ (モノクロ、サイレント)
10分

1-14
石内 都
《ひろしま #71》
2007/2015
タイプC プリント
154.0×100.0
Donor: Hatamura, T.
10月20日までの展示

保存、残すこと

A-2

2-1
吉原 治良
《コンポジション 53》
1957
油彩・キャンバス
162.6×130.0

2-2
吉原 治良
《コンポジション 53》
修復関連資料

2-3
中井 恒夫
《新生》
1989
TV、ビデオ、ネオン、鉄板、発光体、カラー金属板、他
200.0×180.0×145.0

2-4
かつて使用されていた
中井 恒夫《新生》のVHSとビデオデッキ

2-5
川俣 正
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》
1986-1991
鉛筆、ベニヤ板、木片
45.0×122.0×149.0

2-6
川俣 正
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》
1986-1991
鉛筆、シナベニヤ、バルサ材
175.0×244.0×26.0

2-7
川俣 正
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》
1986-1991
写真、木製パネル
103.0×145.5

2-8
川俣 正
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》
1986-1991
写真、ガラス
62.0×85.0×1.5

2-9
川俣 正
《“比燕荘” 京都 1 9 8 8》
1986-1991
インク、鉛筆、紙
62.0×85.0×1.50

2-10
田中 功起
《Everything is Everything》
2005-2006
ミクストメディア
サイズ可変

2-11
田中 功起
《拡張されたアーカイブ Everything is Everything の場合》
2023
行為、映像記録
サイズ可変
広島市現代美術館と実行
28分 28秒

2-12
竹村 京
《修復された誕生仏像 1》
2022
誕生仏像、合成繊維、金糸
14.8×5.5×3.2

2-13
竹村 京
《修復された誕生仏像 2》
2022
誕生仏像、合成繊維、金糸
16.0×5.5×4.5

2-14
竹村 京
《修復された誕生仏像 3》
2022
誕生仏像、合成繊維、金糸
14.7×5.0×3.0

2-15
竹村 京
《修復された H.MoCA の VHS ビデオカセットレコーダー》
2023
H.MoCA の VHS ビデオカセットレコーダー、合成繊維、群馬産蛍光シルク
12.0×44.6×47.0
作家より寄贈

2-16
竹村 京
《修復された H.MoCA の Betamax ビデオカセットレコーダー》
2023
H.MoCA の Betamax ビデオカセットレコーダー、合成繊維、群馬産蛍光シルク
作家より寄贈

2-17
竹村 京
《修復された H.MoCA のハロゲンランプ (ピンク)》
2022
H.MoCA のハロゲンランプ、合成繊維、群馬産蛍光シルク
作家より寄贈

2-18
竹村 京
《修復された H.MoCA の電球》
2022
H.MoCA の電球、合成繊維、群馬産蛍光シルク
作家より寄贈

広島／ヒロシマ

A-3

3-1
山本 正道
《時を購めて》
1997
ブロンズ、木に着色
24.0×381.0×51.5

3-2
圓錐 元規
《望》
1987
ブロンズ
208.6×138.0×94.0

3-3
ナンシー・スベロ
《死の灰 (原子の灰)》
1995
ハンドプリント、コラーージュ・紙
46.0×370.0

3-4
オノ・ヨーコ
《HAKO (ハコ)》
1995
エナメルで彩色されたブロンズ、ガラス、テキスト
箱：10.0×17.5×11.0
テキスト：34.0×34.0

3-5
村井 正誠
《たくまじき人々》
1988
油彩・キャンバス
194.3×259.2

3-6
本田 克己
《黒い雨》
1955
油彩・合板
122.7×197.5

3-7
殿敷 侃
《は 2》
1970
油彩・キャンバス
162.10×130.80

3-8
松本 英一郎
《さくら—ヒロシマ》
1988
油彩・キャンバス
193.6×259.2

3-9
若林 奮
《DOME》
1988
鉄
360.0×425.5×220.0

3-10
若林 奮
《水鏡》
1997
鉄
28.0×361.0×180.0

3-11
フィリップ・キング
《ヒロシマのための記念碑》
1987-1988
鋼鉄
176.0×114.0×68.5

3-12
丁昌燮 (チュン・チャンスプ)
《楮 (Tak) NO.87015》
1987
繊維・キャンバス
227.8×162.2

3-13
島州一
《ヒロシマの軌跡 1988》
1988
ミクストメディア
109.6×129.7×22.2

3-14
白髪 一雄
《暗黒》
1995
油彩・キャンバス
181.5×227.0

3-15
芥川 永
《教師と子どもの碑原型》
1971
ブロンズ
45.0×21.0×17.0

3-16
山本 富章
《For HIROSHIMA》
1995
ミクストメディア
187.8×182.5

3-21
殿敷 侃
《山口—日本海—二位ノ浜 お好み焼き》
関連資料
1987
焼き固めたプラスチック類
120.0×190.0×190.0
天野紋子氏より寄託

《アーチ》のメンテナンス

A-4 出口

ヘンリー・ムーア 《アーチ》
修復関連資料

リレーションズ

4-1
ジョージ・シーガル
《白い藤椅子の女》
1982
石膏、藤
114.30×94.0×132.0

4-2
淀井 敏夫
《夏の雲》
1956
石膏、藁、木
216.0×86.0×40.0

4-3
アルベルト・ジャコメッティ
《男の胸像》
1950
ブロンズ
55.2×14.2×15.8

4-4
アルナルド・ボモドーロ
《光の槍》
1985
ブロンズ
319.5×46.0×40.0

4-5
ジャン・アルプ
《プロフィール》
1955
ブロンズ
31.0×13.5×19.0

4-6
クルト・シュヴィッターズ
《小犬》
1942-1945/1981
ニッケルシルバー
41.9×21.0×17.0

4-7
井上 武吉
《溢れる NO.1》
1977
ブロンズ
13.0×16.5×16.0

4-8
三木 富雄
《耳》
1965
アルミニウム
44.5×26.0×10.5

4-9
三木 富雄
《耳》
1972
アルミニウム
45.0×26.0×10.0

4-10
三木 富雄
《耳》
1972
アルミニウム
39.0×26.0×9.0

4-11
ヘンリー・ムーア
《大きなトルソ：アーチのための
マケット》
1962 / 1971
ブロンズ

4-12
ヘンリー・ムーア
《二つに分れた彫刻 No.10：結合の
ためのマケット》
1968 / 1984
ブロンズ
5.0×9.0×5.5

4-13
ヘンリー・ムーア
《二つに分れた彫刻 No.11 のための
マケット》
1968
ブロンズ
6.5×9.5×8.5

4-14
ヘンリー・ムーア
《帽子をかぶった女性立像》
1975
ブロンズ
18.0×7.0×4.5

4-15
ヘンリー・ムーア
《三つの直立したモチーフ》
1977
ブロンズ
21.0×20.5×12.5

4-16
ヘンリー・ムーア
《カーヴィングのためのマケット》
1983
ブロンズ
5.2×10.2×3.4

4-17
ヘンリー・ムーア
《女のトルソー》
1984
ブロンズ
15.0×5.6×5.0

中西紗和
鑄造工程に関する資料

4-18
《情緒の体操》
2024
砂、ブロンズ等
作家蔵

中西紗和
ブロンズと生活のあいだ

A-4

4-19
《日用品シリーズ》
2011-2021
ブロンズ
作家蔵

4-20
《いきものシリーズ》
2010-2016
ブロンズ
作家蔵

4-21
《たこ》
2010
ブロンズ
3.0×7.0×8.0
個人蔵

4-22
《べろいぬ—上目遣い—》
2016
ブロンズ
3.5×10.6×5.2
作家蔵

4-23
《べろいぬ—緊張感—》
2016
ブロンズ
6.0×12.0×5.0
作家蔵

4-24
《べろいぬ—拒否—》
2016
ブロンズ
7.0×5.0×5.0
作家蔵

4-25
《べろいぬ》
2016
ブロンズ
6.5×10.5×4.0
作家蔵

4-26
《みみねこ—遊ぶ—》
2016
ブロンズ
3.5×7.0×4.5
作家蔵

4-27
《みみねこ—威嚇—》
2016
ブロンズ
1.9×9.0×4.0
作家蔵

4-28
《はんげん—休日—》
2010
ブロンズ
7.0×10.0×5.0
個人蔵

4-29
《カラオケボックス》
2017
ブロンズ、ワックス、布、石等
19.5×20.0×7.0
作家蔵

4-30
《アグニ》
2019
ブロンズ、セメント
10.0×19.0×19.0
作家蔵

4-31
《像》
2024
ブロンズ、ワックス
20.0×4.0×6.5
作家蔵

4-32
《試合を始めない選手》
2019
ブロンズ、ワックス
2.0×28.0×40.0
作家蔵

4-33
《内密》
2024
ブロンズ、石膏、麻布
11.0×12.0×12.0
作家蔵

4-34
《はざまに溶け込むものたち》
2009-2024
ブロンズ、ワックス、真鍮
作家蔵

4-35
《話の起こり》
2024
ワックス、布
作家蔵

4-36
《in fuse — in ward》
2013/2024
ブロンズ、ワックス
70.0×60.0×140.0
作家蔵

4-37
《みる・みえない、みている》
2024
アルミ
42.5×29.0
作家蔵

4-38
《uh》
2011/2024
ブロンズ、広島市現代美術館で溶かした
ワックス
作家蔵